

# 北社会ニュース 第27号

2006年11月15日

発行者： 鈴木壮夫

(1) 本日・第246回 北社会 講師：佐藤芳直氏 (高28回)

(株)S・Yワークス 代表取締役

佐藤氏は1958年2月生れの48才。五橋中学校から二高進学、早稲田大学商学部の卒業、(株)日本マーケティングセンター(現(株)船井総合研究所)に入社。1994年、当時の上場企業中最年少の36才で役員に昇格。今年、2006年3月、同社常務取締役を退任、4月に家業である会計事務所を統合し、財務戦略と経営コンサルティングを主業とした(株)S・Yワークスを設立し、代表取締役に就任。

「経営の目的は永続にある」という哲学のもと、“百年企業の創造”を提唱し続け、活躍されている。

佐藤氏のことを知ったのは、2年前仙台に戻り、仙台発・大人の情報紙「りらく」を購入して新幹線の車中で読み始め、同氏のインタビュー記事が眼にとまった時でした。

記事のタイトルは「人間も企業も、生きるとは夢を持ち、学び続けること」でした。

5頁の特集の中で、私が特に印象に残ったのはご子息の由樹君の発達障害を船井氏に報告した時、船井氏は次のように佐藤氏に語りかけたそうです。

「そうか障害があるか。でもそれはよかったじゃないか。君の息子は自分から障害を選択し君を選択して生れてきたんだよ。君に何か教えようとして生れてきた。だから教えてもらうといいよ。」と言ったそうです。佐藤氏は述懐し「悩みはしましたが、船井幸雄氏の弟子でよかった」と述べています。

もう一つ印象に残ったのはアラスカに魅入られて毎年行っていることでした。時間のやり繰りが上手なお方なんだなあ・・・と羨ましく思ったのと大きな熊、グリズリーとの出会いでした。ナチュラルリストとしても一流なんだと印象づけられました。

そして巻末のプロフィールで二高の同窓と知って、もっとビックリしました。同窓生をより多くお会いしているほうだと自分自身自負しておりますが、佐藤氏のユニークさにはとても興味があります。夏の終り頃、書店で佐藤氏の近著「思いが実現する・船井幸雄の60の言葉」マガジンハウス発行(本体価格1333円)を見つけ講読し、今回講師にお願いした次第です。

本日は私の勝手な一方的なテーマ「経営も人生も、人間が人間として創るもの」をご快諾いただきました。ご講演の後、活発なミーティングを期待しております。

(2) 次回以降の北社会開催予定

次回は来年1月開催です。例年通り会計報告と会員お一人づつのスピーチ主体の新年会。4月に共学となり、母校の歴史の大きな区切りとなります。「区切り」を語っていただける講師を2-3月に御呼びしたいと思っております。お聞きしたい講師の方々を世話人までご連絡いただくようお願い致します。

モンゴルの女性学校長の二高視察の印象・口述筆記録も添付します。ご参考まで。